

# Beat-Sonic HVXT04 取扱説明書

NO.000003

この度はデジタルインプットインターフェースHVXT04をお買い上げいただき、ありがとうございます。  
取付ける前にこの取扱説明書をよく読んで正しくお使いください。

## ■本機の主な特徴

- ・純正モニターにHDMIでスマートフォン、Amazon Fire TV Stickなどの映像を入力できます。
- ・音声は車両スピーカーから出力されます。
- ・HDMIの入力にiPhoneなどを接続すればYouTubeなどを映すことができます。
- ・映像に対して音声の遅延がありません。
- ・純正ナビなどの機能はそのまま使用できます。
- ・独自の制御方法により、純正機器との切替えがシームレスに行えます。

## ■注意事項

- ・6スピーカー車には適合しません。
- ・映像機器接続用のHDMIケーブルは付属しません。
- ・本機のUSB端子は給電用です。通信やUSBメモリなどの再生はできません。
- ・電源投入時やHDMIケーブル挿抜時などポップ音(ポツ音)がする場合がありますが、故障ではありません。
- ・ステアリングスイッチで接続機器の操作はできません。
- ・情報画面(交通情報やETC料金案内等)が表示されてから外部入力映像に復帰するとき、黒画面が数秒間表示されることがあります。  
※外部入力映像の視聴中に発生することがあります。
- ・画面端にわずかな揺れや映像にわずかなノイズが出ることがありますが、モニターの仕様によるもので製品の不具合ではありません。
- ・iPhoneなどを接続した場合、アプリによって別途通信料を消費することがあります。

## ■仕様

寸法:W100×H23×D109(mm) 質量:170g(本体のみ)  
USB端子:5V/2.4A(急速充電対応) HDMI端子:タイプA

## ■同梱品

HVX本体、車両接続用ハーネス、GVIFケーブル(2種類)、両面テープ、ウレタンシート、HDMI延長ケーブル(オス-メス 2m)、USB延長ケーブル(オス-メス 2m)、取扱説明書

## ■お取付け上の注意事項

- ※運転操作や車体の可動部分を妨げないように取付けること。
  - ※パイプ類、タンク、電気配線などを傷つけないこと。
  - ※水のかかる所、湿気、ほこりの多いところに取付けないこと。
- ※この製品の不当な取扱いによる不具合または不当な取付けによって生じた損害につきましては、当社はその責任を負いかねますので、ご装着の際はあらかじめご了承ください。
- 取付作業を行う前のご注意**  
※車体の板金部近くを通るコードには、保護テープを巻いてください。  
※取付後、ブレーキランプ、ヘッドライト、ウインカー、ワイパーが正常に動作することを確認してください。
- ※作業を行う前に必ず、純正デッキの動作確認を行ってから取付作業を開始してください。  
(純正デッキが正常に動作しない場合は、本機を取付けても正常に動作しません。)

製品についてのお問い合わせ窓口

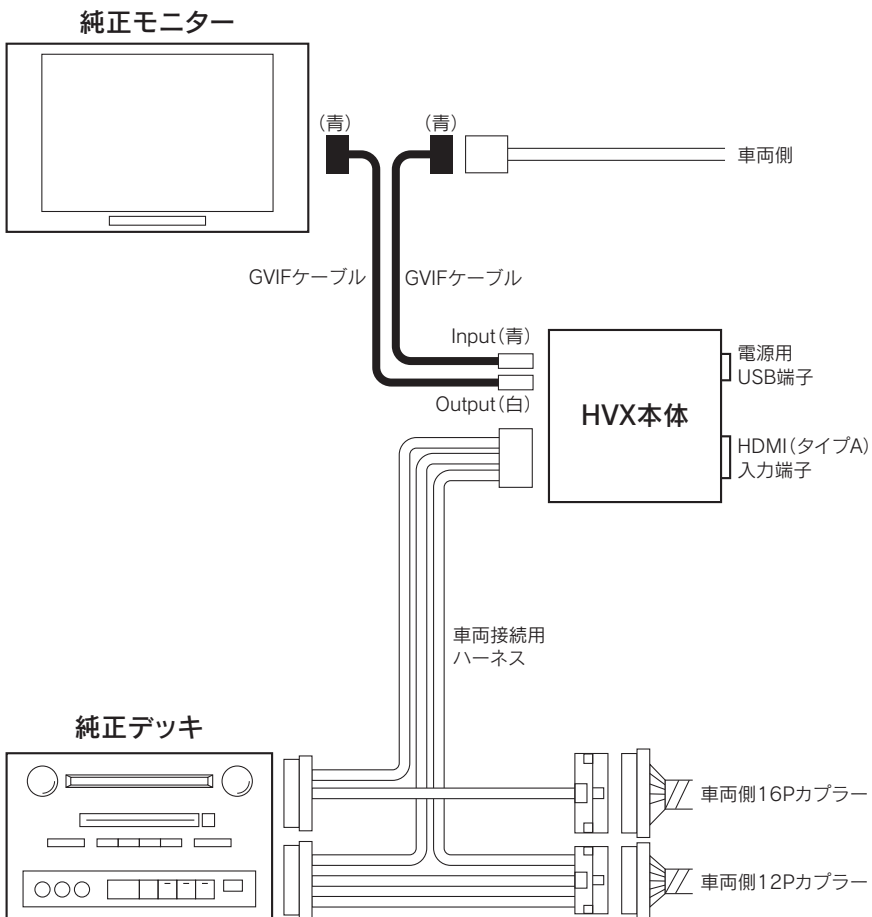
▶ WEBお問い合わせフォーム [24時間受付]  
<http://contact.beatsonic.co.jp/>

**Beat-Sonic** 〒470-0112 愛知県日進市藤枝町庚申472-5  
株式会社ビートソニック TEL 0561-75-1655 / 0561-74-5592 URL <http://www.beatsonic.co.jp/>

掲載されている商標・ロゴ・商号等に関する権利は、弊社又は個々の権利所有者に帰属します。詳しくは弊社ホームページをご参照ください。

## ② 各配線及び機器との接続例

### ■配線図 「HVXの取付け」は下図参照



- ・HVX本体のUSB端子は電源用です。通信やUSBメモリなどの再生はできません。
- ・車両側16P/12Pケーブルがない場合がありますが、その際は車両側ケーブルは接続する必要はありません。
- ※画面端にわずかな揺れや映像にわずかなノイズが出ることがありますが、モニターの仕様によるもので製品の不具合ではありません。

適合車種	車両型式	適合年式	純正装備
クラウン 210系 ロイヤル/アスリート	GRS210/GRS211/ GRS214	H24/12-H27/10	HDDナビゲーションシステム+ トヨタプレミアムサウンドシステム(16スピーカー) HDDナビゲーションシステム+ クラウン・スーパーライブサウンドシステム(10スピーカー)

## ① 同梱品一覧



### ■HVX本体

### ■車両接続用ハーネス

車両側ケーブル、純正モニター、純正デッキとHVX本体を接続します。

### ■GVIFケーブル(2本)

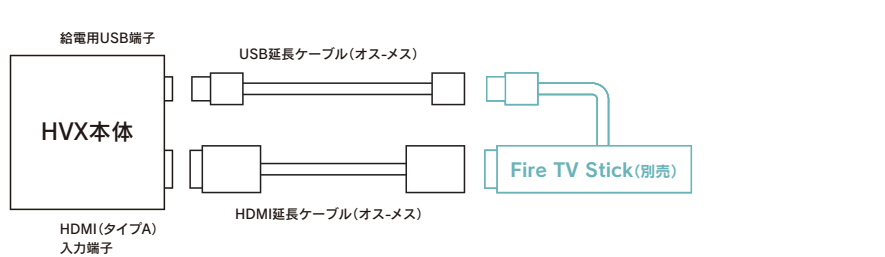
車両側ケーブル、純正モニター、HVX本体を接続します。

### ■HDMI延長ケーブル(オス-メス 2m)

### ■USB延長ケーブル(オス-メス 2m)

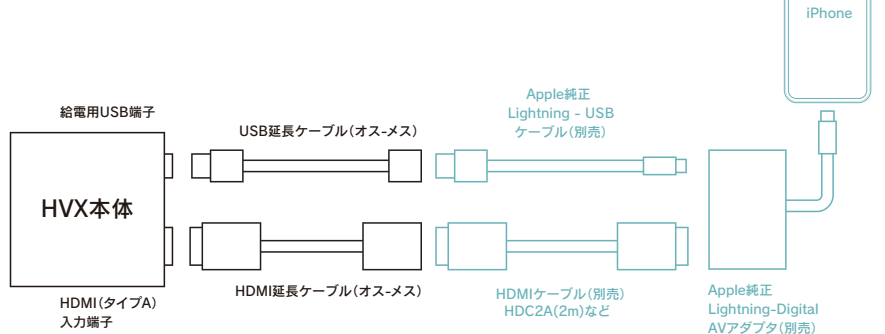
※掲載製品の仕様は予告なく変更する場合がありますので、ご了承ください。

### 【接続例1:Amazon Fire TV Stickの場合】



### 【接続例2:iPhoneミラーリングの場合】

※ミラーリングできるアプリなどは、Apple純正 Lightning-Digital AVアダプタに準じます。



## ■入力映像(HDMI)について

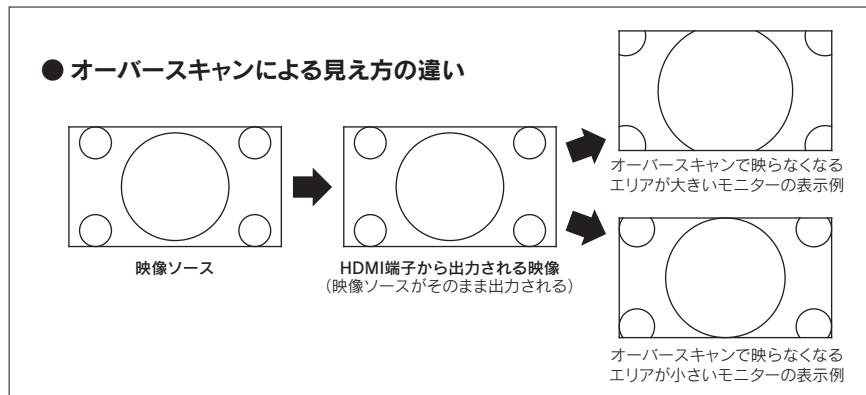
入力するHDMI機器または映像ソースにより、画面の四隅が切れたり画面端に黒枠が表示されたり、また映像が縦長に表示されることがあります。これは解像度や表示エリア、アスペクト比等が原因で起こる現象であり、各機器の故障ではありません。以下の説明をご覧ください、接続するソース側の機器や映像ソースをお確かめください。

### 【対応できるHDMIの解像度】

フォーマット名	解像度	アスペクト比	リフレッシュレート
1080p	1920×1080	16:9	60Hz / 59.94Hz
1080i	1920×1080	16:9	60Hz / 59.94Hz
720p	1280×720	16:9	60Hz / 59.94Hz
480p	720×480	16:9	60Hz / 59.94Hz

### 【表示エリアについて】

本製品のオーバースキャンは95%で設計されており、オーバースキャンとは、画面端の歪みやノイズを隠す為に、画面の四隅をカットする表示方法です。通常、映像ソースはオーバースキャンによって映像の四隅がカットされることを想定し、字幕などの重要な情報はカットされない範囲に収めるように作成されます。これに限らない映像ソースを視聴している場合は、オーバースキャンによりカットされてしまう範囲に配置された情報がカットされて表示されます。



ソース側の機器のオーバースキャンが95%より大きい場合や、アンダースキャン信号を入力した場合は、画面の端の映像が切れて表示されます。また、95%より小さい場合は、画面の端に黒枠などが表示される場合があります。ソース側の機器にオーバースキャンの設定がある場合は、オーバースキャンを95%に設定してください。

## HDMI入力の切替え

### ■HDMI入力映像に切替える方法



モニター部分の[VTR]を押し、続いて「全画面」を選択します。HVXT04で入力した映像が表示され、車両スピーカーから入力音声がかかることをお確かめください。※HVXT04のHDMI入りに機器が接続されていないときは青画面が表示されます。

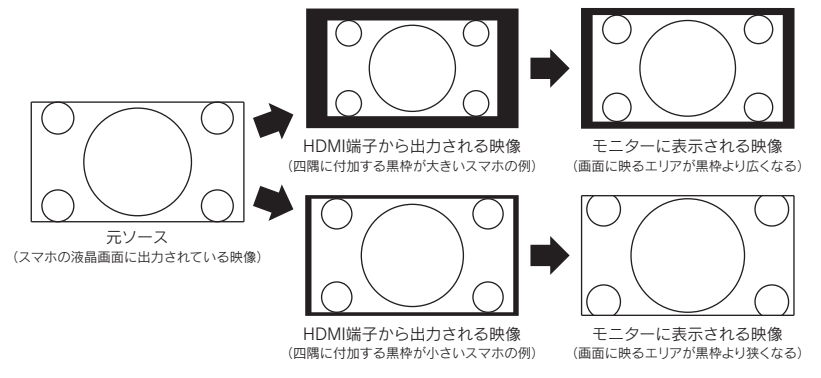
情報画面(交通情報やETC料金案内等)が表示されてから外部入力映像に復帰するとき、黒画面が数秒間表示されることがあります。※外部入力映像の視聴中に発生することがあります。

### ■画質調整について

弊社製品のカラーバランスは、画質調整の項目を「中央値」で調整していますので、すべての項目を「中央値」に設定してご使用ください。

・HVX本体を取付けたあと、HDMI端子を抜いた状態で[AUDIO]→[VTR]→[各種切替]→[画質調整]を選択し、すべての項目を中央値に設定してください。

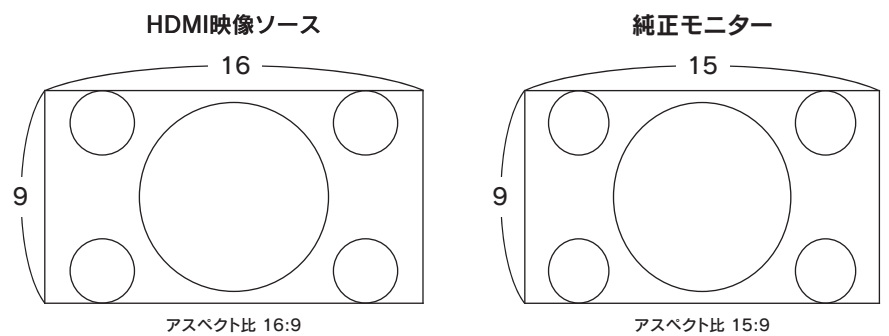
### ●スマートフォンが付加する黒枠の大きさによる見え方の違い



スマートフォン等の映像ソースにはあらかじめ四隅に黒枠が付け加えられて出力されることがあります。付け加えられる黒枠の大きさはスマートフォンの機種によってそれぞれ異なるため、モニターに表示されたとき、「黒枠が見える」もしくは「少しカットされた映像」になります。

### 【画面の縦横比について】

純正モニターのアスペクト比が15:9のため、16:9の映像ソースを入力した場合は若干縦長に表示されません。アスペクト比とは縦と横の比率のことで、ここでは画面の縦と横のサイズの比率のことをアスペクト比と呼びます。本製品は、16:9の映像ソースを純正モニターの15:9に合わせて表示させるよう設計されているため、若干縦長の表示になります。



## 製品保証について

本製品をお買い上げいただき誠にありがとうございます。保証期間はご購入後1年となります。

### 保証範囲など製品保証

保証範囲など製品保証については、弊社ホームページよりご確認ください。

<https://www.beatsonic.co.jp/warranty/>





# クラウン210系への取付方法

## A 車両パーツの取外し



純正デッキ/モニターの取外し方法は左記QRコードから確認してください。  
URL:[http://www.beatsonic.co.jp/qr/?page=hvxt04\\_t1](http://www.beatsonic.co.jp/qr/?page=hvxt04_t1)

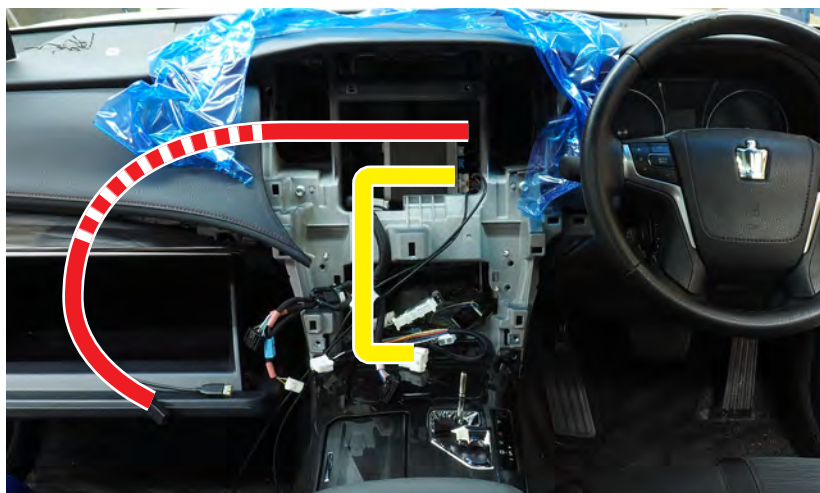
## B HVXの取付け

### 1. 通線

純正パネルの取外し方法は、「A 車両パーツの取外し」をご覧ください。  
HDMIケーブルとUSBケーブルは任意の場所に配線を通線します。  
外部入力機器の設置位置に合わせて、通線する位置を決めてください。  
配線については「②各配線及び機器との接続例」をご覧ください。

### <ケーブルの通線位置例>

- ・「HDMI延長ケーブル」と「USB延長ケーブル」は「モニター裏からグローブボックス裏」に通線します。ケーブルの先端はグローブボックス内に出してください。
- ・「車両接続用ハーネス」のケーブルは「配線図」のように「モニター裏からラジオレシーバASSY裏」に通線します。



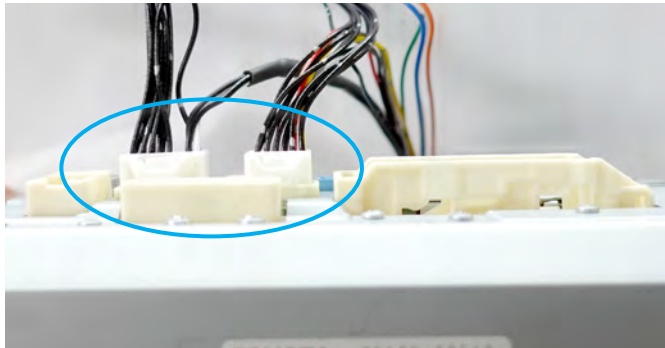
### 2. ケーブルの接続

ラジオレシーバASSYの16ピン/12ピンコネクタを抜き、付属の車両接続用ハーネスを間に割り込ませるように取付けます。(別紙「配線図」参照)



ケーブルを接続するコネクタ

ケーブルを接続するラジオレシーバASSY



付属の車両接続用ハーネスの16ピン/12ピンを取付け、他のコネクタは全て元に戻します。

### 接続するコネクタに注意してください!

コネクタの挿し間違いがないよう、接続する前にコネクタの確認をお願いします。  
間違えて接続するとナビの動作不良、故障の原因となります。接続するコネクタには十分ご注意ください。

### 3. HVX本体の養生

- ① 付属の両面テープをHVX本体裏側に貼付けます。(本体の固定位置に合わせて貼付け位置を調整します。)
- ② 付属のウレタンシートは、両面テープを貼付けた面以外の3面に貼付けます。
- ③ ウレタンシートのあまりはカットします。



### 4. HVX本体の設置

HVX本体の設置位置は任意です。  
純正機器の可動部や配線に強いテンションがかかる設置位置を避け、適宜養生をして設置してください。

### <HVX本体設置の推奨位置>

モニター裏にHVX本体を設置します。  
HVX本体の接続コネクタ・GVIFコネクタが向かって右側になるように設置します。  
モニターを取外した箇所の背面にHVX本体の両面テープ部分を貼付けて固定してください。

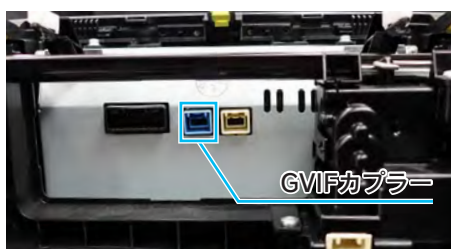


### 5. GVIFケーブルの接続

- ・付属のGVIFケーブル2本を、車両側GVIFケーブルの間に割り込ませるように接続します。(別紙「配線図」参照)
- モニター裏の青コネクタとHVX本体 (Output)、車両側コネクタとHVX本体 (Input) を接続します。

※白色GVIFコネクタはHVXの取付けに使用しません。純正のコネクタを接続してください。

- ・付属のHDMI延長ケーブルとUSB延長ケーブルをHVX本体に接続します。
- ・HVXの取付けに関連のない純正のコネクタを全て元に戻します。



GVIFコネクタ

### 6. 純正パネルを戻す

純正モニターを取付けし、取外しと逆の手順で純正パネルを取付けます。

### 7. 動作確認

1. マルチディスプレイを地図画面にしてモニター上に地図が出ることを確認してください。  
→ 地図画面が出ないときはHVX本体～モニター間のGVIFケーブルが奥までしっかりと接続されているか確認してください。
2. マルチディスプレイのソースを「VTR」にしてマルチディスプレイに入力した映像、スピーカーからは入力した音が出ていることを確認してください  
→ 青画面が表示される場合はHDMI端子の接続をご確認ください。音が出ない場合は車両接続用ハーネスの接続や端子の状態をご確認ください。